

貴方の…大好きな人の、腕の中に

↳運命の出会い、海底のお姫様と交わした永遠の約束↳

■「船上での出逢い 癒しの人魚

【セフィリア】

…ん、あ……。ここ、は…？

海…では無さそうですね。これは、樽の中に…。私 わたくし、どうしてこんな所に。

あそこで倒れているの、人…。暗くて、よく見えませんが。

あの、大丈夫ですか。どこかお悪いところでも…

あ、良かった…。その、すみません。少々お尋ねしたいのですが…

ここは、一体…。

もしかして、海で怪我をした私を…貴方様が、助けてくれたのでしょうか？

そうであれば、何かお礼をしないと…

…その、私は怪我をした覚えはないのですが

ただ…何か網のようなものが空から降って来て、そこから記憶が…

目が覚めると、目の前に貴方様がいたもので。

どうして謝っていらっしゃるのですか？ その…逆、というのは…

…そうですか

私は…捕らえられて、しまったのですね

…そして、ここは…船の中。貴方様は…

海賊さん？

そうなのですね。海の上には、そのような人たちがいると、良く聞かされていました。船に乗って、色々悪いことをする…怖い人たちがいると…

でも、貴方様は、そのようには見えません

はい、確かに海賊さんのお仲間、というのは分かりました。けれど…でも…

あの、宜しければもう少しだけ、お顔を良く見させていただきませんか？

『…そうです、こちらに歩み寄って下さい…』大丈夫です。何も心配はいりません…

…ふふ。やっぱり

貴方様は、悪いことをするような人には見えません

はい、海賊さんというのは本当なのでしょう。けれど、私を捕まえて、樽の中に閉じ込めたのは、違う人がやったこと…

ここに来たのも、私をいじめるためでは、ないんですよね？

貴方様が…私のお世話を…？

ふふっ、ではよろしくお願いしますね、優しい海賊さん

…せっかくなので、握手をしましょうか。

…私は、…人の間では、セイレーンと呼ばれています。

私達も人の怖い噂を知っているように、貴方様も私達の怖い噂を色々とお聞きになっているのでしょうか。

でも、私は、貴方様が思っているような存在ではありません。

お互いに、言葉だけではすぐに分かり合えない事もあるのかもしれませんが…

まずは、信頼関係を築く所から始めませんか？

手と手を繋げば、少しでも通じ合うものがあると思います。

…さあ、手を出してください…

……ん。あったかい…

……私の手も、ですか

ふふ、こうして樽の中に入っていると、ただの女の子にしか見えませんよね

…す、すみません。そろそろ、離しますね

その…人と触れ合ったのは、初めてで…

でも、あったかくて、優しい感触で…。私達と、変わりませんね。ふふっ

人は怖い存在だと聞いていたのに、
貴方様の腕は、とても乱暴なことをするようには見えなくて…

その傷…ほら、痣になっているところがありますよ
このお怪我は…どうしたんですか？

嵐で船が揺れた時に、転んでしまわれたのですか……
貴方様の腕、とても痛々しくて…。宜しければ、私に手当させてください

人の間ではあまり知られてはいませんが、
私達の種族には、傷を治す癒しの効果をもたらす事ができるんです。
ですから、もう一度だけ…腕を見せてくださいませんか？
…そして、私の顔に、耳を…近づけてくれませんか？

どちらの耳でも、構いませんよ…

……はい、ありがとうございます
…では、痣になっているところに、触れますね…
大丈夫です…何も心配はいりません。

だんだん、触れているところが、ポカポカと伝わってくる感覚が、分かりますか？
…セイレーンの、特に私の声には…癒しの効果があるみたいなんです…
人に試したのは、これが初めてでしたけど……ん、はあ…
…どう、でしょうか？ 痛みが引いて…穏やかな心地に、なってきましたか？

ふふ、それは良かったです

あの…もし宜しければ。他の傷も、私に見せていただけませんか？

…転んで怪我をしたなんて…嘘、ですよ

—あっ

待って、ください
その腕の怪我…もしかして、他の海賊さんに…されたのですか

…嵐、と言われていましたが、最近の海は…とても穏やかでしたから。

それに、貴方様の嘘は、すぐお顔に出てしまっています

…出会ったばかりで…私の事は、まだ信用できないかもしれませんけど。
…何があったのか、私に話していただけませんか…？

…お願いします。傷っている人のこと、放っておけません…それに…
…私達はお互いに、信頼する所から始めるべきでしょう？

…そう、だったの、ですね…

お友達に、されて…。いえ、そのような方々は、お友達でも、何でもありません

…酷い、です

貴方様は、とても…優しい方なのに。

…私にはわかります。目を見れば…触れ合えば…貴方様の本当の良さが。
…それなのに、酷い事をされて…

貴方様が海賊をされているのも、何か理由があるのですね…

…うう、とっても、ひぐ…っ、可哀想…です。…うう、ぐす…っ

…お願い、します

他の傷も、見せてください

…私の我が儘を、聞いてほしいのです…っ

…このような、酷いことをされた…貴方様のことを、僅かでも癒してあげられたら…
…どうか…っ

…そう、です…。私の顔…唇に、耳を近づけて…

…これで、貴方様の傷を、癒してあげられます…
…傷っているのは、どこ…でしょうか

…まずは、お腹…ですね

では、失礼します…んっ

…これは、酷いですね…

でも、大丈夫。大丈夫ですよ

私の手が触れて、この声が届けば…

お身体の腫れも、痛みも……すうーっと引いて…溶けていきますからね…

傷ついたお腹に…少しずつ触れていきますね。

お顔が、和らいできましたね…

…気持ち良い、ですか…？

お役に立てたようで…良かったです

…でも、まだ…ありますよね？

癒してほしいところ、私に…教えてください

…次は、お背中、ですね。

では、後ろの方も…少しくすぐったいですか？ ふふっ我慢して下さい。
硬くなっているお身体から、力を抜いてくださいね…

そうして、目を閉じたまま…

私の声を、感じてください…

この声は、貴方様を傷つけず、優しく抱きしめるように…

全身を満たしてあげられます…

安心、してくださいね

ゆっくりと息を吸って…吐いて…

そうしていると、全身が温かく…

海の上を…漂っているような心地良さに、包まれていきますよ…

……ん、はぁ…。…ん、ふう…

どうでしょう。少しは癒されましたか？ お身体だけでなく、心の傷も…

では、離れますね…

…お役に立てたようで、良かったです

また、何かあれば気軽に話してくださいね。私で良ければ…

いえ、そんな…。私が、望んだことです…

…それに、貴方様は、私の世話を任されているんですね
でしたら、お互い様…ということです。

ふふっ、そんなこと…言葉に出していただかなくても、分かりますよ
貴方様は、私を傷つけるようなことは、絶対にしないと…
そういえば、まだ私の名前をお伝えしていませんでした。

私は、セフィリアと申します。

これからも、よろしく願いますね。優しい海賊さん

■2. 人魚の歌声と嵐の前兆

【セフィリア】

冷たくて深い 暗闇の中で
貴方は傷ついて 眠っている

優しくて懐かしい旋律 (マロデー)
あたたかな微笑みに抱かれて
孤独な心の奥 溢れる想い
ずっと ずっと この手を離さない

——あつ、海賊さん。今日も来てくれたんですね！

ということとは、その…聴かれて、ましたよね

…うう、恥ずかしいです…

誰にも聴かれていないと思っていたので…

はい。…実は私、歌うのが好きなんです。

以前、暮らしていたところでも、良くこっそりと歌っていて…
ここに来て、歌が好きな事は、変わらなかったみたいです…

……そんな…褒められると、照れちゃいます…

無理をされなくて、良いんですよ。

誰かに聴かせるために、歌っているわけではありませんし…
地上で歌ったのは、これが初めてなんです。

いつもは、海の中でイルカさん達と一緒に歌っていましたから…

か、可愛いなんて…

…貴方様は、お上手ですね。

…あら、でもお顔に出ていないから…嘘ではないのでしょうか…？

…少し、水に潜っていても良いでしょうか？。

…きっと今、お見せできない程顔が赤くなっているの…

……あ、いえ、側に…いてください

一人でいるのは、寂しくて…

できれば、もっと、側に…。隣に、いてくれませんか？

……。あ。ありがとうございます

…。こうして、貴方様と一緒にいられると、とても、落ち着いていられます…

…。冷たい水の中なのに、心が温かくなるような気がして…

お食事を、持って来て下さったんですね。ありがとうございます

…。ところで…。その、パンでしたら、私も手掴みでも食べられるので…

いつも、私の口に入れて食べさせて下さるのは、申し訳ないと言いますか…

…。確かに、パンは濡れてしまいますけど…

面倒では、ないのでしょうか？ 私が食べるのは、いつもゆっくりですし…

……。そ、そこまで仰るのであれば…。今日も、よろしく願いますね…

…。うう。こうしていると、見つめ合っているみたいで、恥ずかしい…ですね

…。で、では。ん、あーん…はむ…ん、んむ…んっ…んく、ああ…

美味しい、です。ん…あー…む、んむ、んぐ…もぐ…もぐ…んく

…。あー…む、ん…っ、ん…んむ、もぐ…もぐ…ごくん

…。あ、あの。すみません、今…貴方様の指に、く、唇が…触れてしまって…
そんな、お腹がすいていたから、とかではなくて…

食べさせて頂けるのが、嬉しかったので、つい…

…。うう。いえ、まだ…食べたい…です

…。食べさせて、もらえますか…？

……。ん、ありがとうございます

……。う、その、食べないのではなくて。

さっきのことがあったので、意識…しちゃってます

もう少しだけ、待ってくださいね…

ん…あー…む、んむ、んぐ…んっ…もぐ、もぐ…もぐ…ごくん、はあ…

ごちそうさまでした。とっても、美味しかったです

… 貴方様は、本当にお優しいんですね

こうして、お食事も毎日運んで下さって… 食べさせて、いただいて…
毎日、私に会いに来てくれて… とっても嬉しいです。

… 私、いつも貴方様が来てくださるのを楽しみにしていたんですよ。

暗い船室で、明かりが消えそうになると、貴方様はいつも来てくださいました。

それに、お仕事でお疲れなのに、いつも、夜遅くまで私のお話を聞いていただきました。

… 他の海賊さん達が、私の事を恐れて、貴方様だけに私のお世話をさせていた事も知っています。

先日、そのような会話が、天井から微かに聞こえていました。

でも、貴方様は恐れも、嫌な顔もせず、毎日のように私の元へ来て、私のそばで一緒に日々を過ごしてくれましたよね？

… それが、とても嬉しかったです。

… そんな。どうして、ご自分のことを悪く言うのですか？

… それは。貴方様の言いたいことは、分かります

私達の仲間が、人の手によって…

でも、貴方様は違います

とっても、優しい心を持っておられます

…… はい。ですから、どんなことを言われたとしても、されたとしても…
貴方様のことは、嫌いに… なりませんよ。

今… 何と、仰ったのですか？

そう… ですか

セイレーンのお肉を口にすると、不老不死になれる…

人は、そのように思っているんですね

… では、私の命は、港に着いてから数日というところでしょうか

… そんな、悲しいお顔をなさらないで下さい

どの道、私にはもう居場所がなかったんです。

私達の種族では、生まれた時から決められた相手と夫婦になる風習があるんです。私は、近いうちに、結婚…させられそうになって…

まだ出会っても、お話もしたような事がない方と、そのようなこと…。

色々と考えている内に、気がいたら海の上に出ていたんです。

…でも、最期に、貴方様のような、優しい方に出会うことができましただから、悲しまないで下さい…

貴方様は、何も悪くないんです…

私のために、そう想ってくれているだけで、この胸は満たされていますから…

だから…あ。手を…

…濡れて、いるのに。…ふふ

ありがとうございます

…ああ、あったかい

……その。お礼に…というわけでは、ないんですけど

また、貴方様のお側で囁かせて頂いても、良いですか？

…怪我は、していなくても。心の傷を塞いであげたくて…

…それでは、お耳の近くに…失礼しますね

……私の、声

先ほど、可愛いと仰ってくださいました…

恥ずかしいですけど、一番近いところで…

貴方様になら、もっと…聴いてほしいと、思っていました…

…ふふ、くすぐったいですか？ 少しは、気が紛れると良いのですけど…

…もう。ご自分を、責めないで下さい

……貴方様の優しさは、胸の痛みを消す為のものでは…

それだけのものでは、ありませんよ。

だって…私とお話をしている時、笑ってくれているんですから。

その笑顔に、私は…癒されているんです

この何気ない会話が、時間が…大好きで

いつ、会いに来て下さるのかと…毎日、楽しみにしているんですよ。ふふっ

でも、そうですね…。

このまま、ここから逃げだしてみるのも、1つの考えかもしれません。

…まだ、はつきりとは分かりませんが…。近いうちに、嵐が来ます

…それも、とてつもなく…大きいのが

恐らく、この船も…無事では済まないかもしれません

…ふふ、怖がらなくても大丈夫ですよ

もし、そんな日が来たら…

その時はまた、今日のように。…私の側に、いて下さい

…約束、ですよ

■ 3. 海中の歌姫

【セフィリア】

……良かった。来てくれたのですね

はい、この様子では、長くは持たないと思います

大きな波に吞まれ、この船はもうすぐ海の中へ沈んでしまうかと……

でも、大丈夫です。貴方様だけは、私がこの身をもってお守りいたします

さあ、側に来てください。もう時間がありません

……はい。それでは、私の手をしっかりと握って、目を閉じてください

……何があっても、この手だけは、離さないで下さいね……

……っ、大丈夫……落ち着いてください

貴方様のことは、私が必ずお守りします……

嵐の音よりも、私の声に耳を傾けて……

呼吸も、いつも通り……自然に、して下さいね

……そうです

この声と、手の温もりは……貴方様の側から、決して離れません

たとえ目を閉じて、何も見えない真っ暗なところでも……

私は、貴方様の側にいます

……ずっと。いつまでも、寄り添っていますからね……

……私と一緒に、下の世界へ……

……ん、ちゅっ

……大丈夫です、もう目を開けても大丈夫ですよ

そう、ここは海の中

でも、こうして話したり……息を吸ったり。いつも通りに過ごすことができます。

……私、ずっと貴方様の手を握ったままでしたね。

もちろん、この手を離しても、溺れる心配はありません。安心して下さい

貴方様も、この広い海で泳ぐお魚さん達のように、自由に泳ぐことができるんです

…ふふっ、それにしても、海の中は良いですね。

さっきまで、ずっと狭い樽の中に入っていましたから…

泳ぎ回ることができなくて、ずっと…ウズウズしていたんです

でも、今はこの通り。私の方から、貴方の様の近くに寄り添う事もできますよ。ふふっ

…そういえば、この尾ひれや…素肌を見せるのは、初めて…でしたよね

樽の中だと…肩より下のところは見えていなくて。今は、お腹も…

なんだか…恥ずかしいです

綺麗…本当、ですか？

いえ、…ふふ、ありがとうございます

このような姿、人とは違うので。受け入れてもらえるのか不安でしたけど…

綺麗…と言っていただけで。とっても、嬉しいです

恥ずかしさも、忘れてしまうくらいに。むしろ、もっと見てほしいようにも、感じて…

あ…いえ。貴方様のお顔を見つめていると…先ほどの、行為を思い出してしまって…

つまり、その…キス、です…

これは、その、人がこうして海中で過ごすためには必要なことで…

決して、別の意味があるとかでは、ないんです……よ？

…ですから、別の意味というのは……うう

もう！…また、恥ずかしくなってきたじゃないですか。貴方様の…せいですよ？

ふふっ、そのように本気にしないで下さい。冗談です

…さ、せっかくですし、一緒に泳ぎましょうか

私の後に、ついてきてくださいね？

I pray 貴方の名を呼んで この手を重ね

永久（とわ）に広がる 水平線の下 この胸で抱きしめたい

Your eyes 他には何もいらない そばにいられれば

貴方の笑顔 いつまでもずっと 隣で 見ていたい

…思わず、歌ってしまいました。

…久しぶりの海が、とても気持ち良くて

ほら、見てください。月の光が、きらきらと射し込んで…

夜の海なのに、とっても綺麗ですね…

ふふ、貴方様も、そう思いますか？

海って、とっても心地良いんですよ

朝と夜では、見える景色も全然違いますし…

地上と違って、上でも下でも、自由に動き回れるんです

初めて海を泳いでみて…どう感じましたか？

気に入っていただけたのなら、嬉しいんですけど…

そうですか…！ それは、良かったです。

では、このまま海のお散歩など、いかがでしょうか？

私は、脚ではなくて、尾ひれですけど…ふふっ

……そういえば、どこに行くのかは…まだ決めていませんでしたね

港までまだ距離がありますし……そうだ、近くに無人島があるんです

一先ず、そこを目指して泳いでみるのはいかがでしょう？

では、決まりですね

では、さっそく一緒に…

そ、その前に、また…あ、あれをしないと…

い、いえ…近いとはいっても、無人島までにはまだ距離があります……で、ですから

貴方様を、私と同じように、海でも過ごせるようにするためには…

…キス、をしないと…

あの時は、船が沈みそうでしたし、意識して、いませんでした…

今は、静かな海の中で……少し、恥ずかしい、です…

私、キス…なんて。初めて…でしたから

貴方様も…ですか？

そう、だったんですね…

その、初めて同士で…。嬉しいと、思っていました…

…特別な意味なんて、ないと思っていたのに…。不思議、ですね

じゃあ…えっと。こちらを…私の方を、向いて下さい

…私から正面に行くのは、は、恥ずかしいので…

貴方様の方から、お願い致します…

私と…二回目のキス、致しましょう…？

……あ、近い…ですね

でも、これから、もっと近くならないと…

んっ……あの。目を…瞑っていただけませんか？

…ありがとうございます。少し、緊張してるみたいで…

…それ、では…

……ん、ちゅ…、…ちゅっ

…あ、いえ…これは、二回した方が…効果が、長く続くかと思ったので…

私が、したかった、では、そういう事ではありませんからね…？

え？ 頬にするのは、その、効果がないと言いますか

……をしないと。

……うう

わ、私の体液を貴方様の体内に取り込まないと、効果が得られないんです！

と、とにかく、目的は済みましたので、無人島に向かいましょう

…このことは…誰にも話しては、いけませんからね

…ん、ちゅっ。このことは、二人だけの…秘密、ですよ。ふふ

■ 無人島での生活

【セフィリア】

…ふう、お待たせしました

今日も、いっぱい海藻を獲ってきましたよ

他にも貝やお魚がありますし、お腹、膨れちゃいそうですね

…もしかして…飽きてしまわれました？

い、いえ、無理をなさらなくても良いんです。仕方ありませんよね…

無人島に来てから、毎日同じ物ばかりで…

実は、少しだけ貴方様の寝言を聞いてしまったんです。…街に帰りたい…と。

そうですね…はじめの頃は楽しくても…もう、限界…ですよ

…帰りましょうか？ 貴方様の、住んでいた街へ…

…私のことは、気にしないでください。ここで生活するのは、楽しいなって思っていました。

…一度逃げ出してしまった私は、もう仲間の元へ帰る事は出来ませんが、大丈夫です。私はこの先も…ここで…

あ…それは。正直、貴方様とお別れをするのは、とても寂しいです。

けれど…仕方がありません。私は、人ではありません。貴方様とは住む世界が違うのです。

お誘いして頂けるのは、とても嬉しいです。

…いえ、でも私は、街に行くことは、できません

人の街に近づくということは、その分、捕まってしまう危険も増えてしまいます…

それこそ、人として生まれ変わらないと…わたくしが、人の姿になれば…！

そうです！ そうすれば、全て上手くいきます

…別に、冗談を言っているわけではありませんよ？

私が足を得る方法…本当に、あるんです

それは…

…魔法、と言えば分かりますか？

人の噂として語られているセイレーンが目の前にいるんですから、魔法使いがいてもおかしくはないでしょう？

…その方をお願いをすれば、私も人として生きられると思います…

貴方様と、一緒に…。人として、暮らすことができます

…そうですね

今のように、自由に海を泳いだり、潜ったりするのはできなくなります。

…それが寂しくないと言え、嘘になります…ですが

その代わり、貴方様が側にいてくれるのですよね？

一人ですとここにいるよりも、その方が、私は幸せです…

…それに、この身体のままだと、貴方様のお側に行けません。とても、不便です

…ですから、私、決めました。人になろうと思います

それでも、良いでしょうか…？

…あ、私と一緒にでも、宜しいんですね？

人の生活には不慣れなので、きっと…ご迷惑をお掛けすることになるかもしれませんが…
それでも、後悔…しませんか？

…ありがとうございます

それではっ、さっそく行きましょう

さあ、こちらへ

ですから、海の方に、こう…ばしゃーんと。飛び降りてください

…ふふ、大丈夫ですよ。高さは全然ありませんし、私が、受け止めて差し上げます。

—さあ、一思いに来てください。…また一緒に、海の散歩をしませんか？

—ひゃっ、ふふ

捕まえた… なーんて、冗談ですよ

…でも、このまま離したくと思ったのは、ほんと…です

私のために、飛び込んでくれたのが、嬉しくて…

…うう、また緊張してきました…

この後、また…しないといけませんから。

せ、せっかく誤魔化したのに、き…キス、なんて。直接…言わないでくださいよう…

…ん、ちゅう…

…ちゅっ、ちゅう…ん…ちゅっ、はぁ…あぁ…

しちやい、ましたね。…その、多めにしてしまったのは…

この頃、貴方様に触れていなかったの…。そのせい、と言いますか…

はしたない子だと、思わないでくださいね…

…うう。困らせて、いませんか…？

じゃあ…お言葉に甘えて、もう一回、だけ

…ん、ちゅっ。ふふっ

…では、一緒に海の中へ…

…ああ、気持ち良い…

こうして、貴方様と海を泳げるのも、これが最期ですね…

でも、だからこそ、寂しがってるばかりでは、いけませんね

今は一緒に、この心地良さを楽しみましょう

ずっと、ずうっと…いつまでも、二人の間で忘れないように…

あ…手を。ふふ、私の手のひら…小さいですか？

貴方様の。この大きな手に包まれて…何だかほっとします

…貴方様も、ですか？ ふふ、両想い…ですね

私の小さな手の、温もりで…貴方様が安心して下さるのは、とっても嬉しいです…

…先ほどの魔法使いのお話ですが、私に知り合いが一人だけいるんです。

街に着いたら、先に港で待っていて頂けますか？

魔法で変わる事ができたら…すぐに貴方様の元へ戻ります。

では、行きましょう。

貴方様が暮らしていた、懐かしの故郷へ…

私と、一緒に。

■初めての膝枕と耳かき

【セフィリア】

お帰りなさい…！ 今そちらへ――

あつ…！。ふふっ、今日は早かったんですね

でも、お掃除もお料理も、全部済ませておきましたよ

…お腹、空いていますか？

では、もうしばらく、休憩致しましょう。

さ、こちらのソファへ。…もちろん、私も一緒ですよ。

貴方の、隣に…

ああ…これが座るという感覚…。だいぶ慣れてきました

…はい、まだ少しだけ戸惑うこともありますけど、

初めての頃に比べれば馴染んできたと思います

転んでしまう回数も、少なくなりましたし…

人になり始めの頃は、かなりご迷惑をお掛けしたかと…

けど、今は大丈夫です。この街に来てから、色々なことを覚えて…

貴方の、お役に立てているって、そう思うんです。

…本当は、私もお仕事をしてみたいんですけど…

貴方は、いつも反対しますよね。セフィリアには、家のことをしてほしい…と。

…でも、その方が二人の時間も増えますし。貴方に、いつもお料理を作ってあげられます

…だから、今のままで…良いんですよね？

それが一番、二人にとっての幸せになりますから…

…そう言えば。その、ちょっと貴方に見てみたいことがあって…

耳かきって言うんですけど…ご存知ですか？

私は、今日初めて知りました

お買物物の時に、耳かき棒という変わった形のが売っていて

…珍しかったので、少しお話を聞いてみたんですけど…

これがとっても気持ち良いと言われて…。お疲れの貴方を、少しでも癒せればと思って…

つい、買っちゃいました。

…ダメ、でしたか？

あ、興味…出てくれました？　では、私にお任せくださいね。ふふっ
お店の方に、耳かきの、極意…？　というものを教わりましたから
きつと、いえ…絶対に、貴方のことを癒して差し上げますね
えっと…まずは頭を預けるように、お身体を倒してください

あ、違います、そっちじゃありません
そうではなくて、こちらに…です
つまり、私の…お膝に、頭を乗せてください

…それは…恥ずかしい、ですけど…
それでも、そうしたいので…。お願い、します…
私のお膝に、貴方の頭を…

…んっ、あ…
…はい、ありがとうございます

…それでは、失礼して…。こちらから、お耳のお掃除を…

…ん、はあ…。最初は、浅いところから、優しく…
んう、ふう…。初めて…ですけど、気持ち良く…できていますか？
…ん、あ…ふふ、良かったあ
…では、このまま…ん、ふう…

ん、はあ…。もつと、かきかきあってして…貴方のこと、癒しますね…
…ん、ふう…。…ん…んう…はあ…

……ん、ふう…
実は…ずっと、してあげたかったんです…
……あ、耳かきの方ではなくて…
…膝枕、ですよ

……以前の時は、貴方の頭を…
こうして膝下にのせてあげることなんて、できませんでしたから…
人の身体になって、自分で貴方の側に行って…

温もりを、分けてあげたかったんです

……ん、はあ……

……どう、でしょうか。私の、人の身体……

膝枕は、ちゃんと温かくて……。寝心地……良いですか？

ふふ、ポカポカして柔らかいんですね

……嬉しい

人として、貴方と触れ合うのが、こんなに幸せなんて……

……ん、はあ……

耳かきの極意は……膝枕だと、教わったんですけど。本当……でしたね
貴方のお顔……いつも寝ている時より、なんだかゆるーくなってる……

とっても、気持ち良さそう……愛おしくて、可愛いお顔をしています。

……ん、ふう……

……でも、その、太ももに……すりすりするのは、ダメ……ですよ

今はお掃除をしていますから。………そんな、残念そうなお顔をなさらないで下さい

………終わった後なら。その、良い……ですよ？ ……すりすり、しても。ふふっ

……ん、ふう。あ、まだお終いじゃないですよ

今度は、もう少し奥の方もお掃除していきますね……

膝枕よりも、こっちの方が気持ち良いかも……んっ

……ん、ふう……

………かきかき、かきかき……

ん、はあ……。浅いところよりも、奥の方は……もっと心地良いですか？

良かった……。では、もおっと……かきかきって、していきますね

……優しく、気持ちを込めて……

……ん、はあ……。………ん、ふう……

あ……少し、集中していたみたいです

あまり、喋りすぎるのも、どうかと思ったので……

その、耳元で話すと、声が……くすぐったい、ですよ

それが、気持ち良いんですか？

………そう、なんですね。………え、可愛い……なんて……

あの時…私の歌を聴いた時も、そのように褒めてくださいましたよね
声が、可愛い、と…

私達にとって、声はとても大事なもののので…

そう言われると…胸の奥があったかく、なります…

…でも、それだけでは、なくて…

どきっと、高鳴るような感じも…

ん、はあ…

…やっぱり、そうだったんですね…

私は、セイレーンなのに。人ではない存在が、人に、恋をしています…

本来であれば、許されない異種族同士の、結ばれる事のない恋。

もっと、伝えても良いですか。貴方のことが、愛おしい、と…

…ふふ。では…

…好き。大好き、ですよ

…ずっと、こうして…触れ合いたかった…

…ん、はあ…

貴方は、私のこと…好き、ですか？

ふふ。本当の意味で、両想い…ですね

…ああ、幸せ…

はい、これで綺麗になりましたよ

あとは…

ん…ふううう—…

優しく息を掛けて、お終いです

…さて、まだ反対のお耳が残っていますので

頭の向きを変えていただけますか？

んっ…あ、こちらを向かれますと、目が合って…少し、恥ずかしいですね

い、いえ、大丈夫です

それでは、こちらのお耳の方も…

まず、浅いところから……ん、んう……はあ
……ん、ふう……

……先ほどは、恥ずかしいと、言いましたけど……
それ以上に、貴方のお顔を見ていたんです……
だって、大好きな人のお顔ですから……
笑顔や、少し眠くなってる時、お料理を食べた時の幸せそうなお顔……
どれも、愛おしく感じて……

夜、ねむる時は……貴方の寝顔をこっそりと眺めてから、目を閉じているんです……
……今も、こうして……。ん、はあ……
貴方の気持ち良さそうなお顔を、私が、今は一人占めです……ふふっ
……ん、はあ……ん……んう……ふう……

え、貴方も……私の寝顔を……？
そんな、もしかして……寝たふりを、していらしたんですか？

もう、ずるいですよう……
寝顔、見られてたなんて……。頬が熱くなってきちゃいました……
……ん、はあ……んっ……
ふえ、可愛かったん……ですか？
……うう。あ、貴方のお顔だって……今、とーっても、可愛いですよ
私の耳かきで、癒されているお顔……
大好き、です……ふふ
……ん、ふう……。……ん、はあ……

……ふう。次は、奥の方も……耳の隅々まで、お掃除していきますね……

……ん、んう……んっ……はあ……
……ん、ふう……

あ……今、少しびくっとしましたよね
……やっぱり、貴方って……お耳が弱いんですか？

出会った時も、そうでしたよね……
貴方の傷を治すために、お耳の側で囁いた時……

どこか、気持ち良さそうにされていました…

ですから、もしかしたら、と思ってたんですけど…

…貴方？聞いていますか？

ふふ、そうでしたか

では、もっと囁いてあげますね…

私の声を、一番近くから…貴方だけに…

ふふ、大好き…ですよ

ずうっと、こうしていたいくらい…好き。…愛しています。

…ん、はあ…

…ん、んう…ふう…

そう言えば…。このような耳かきという行為をされたのは、これが初めてですか？

そうですか…昔、お母様に…

…では、懐かしく感じるのではないのでしょうか

…ふふ。思い出があるのは、素敵ですよ…

私は、貴方の昔の頃を知りません…

…もっと、前に出会っていれば、良かったのに…

そうすれば、貴方との思い出を、もっと…たくさん…

…ごめんなさい、困らせてしまいましたね。

…ん、はあ…

…最近、よく考えるんです

もし私が、生まれた時から人として…。女の子で…

貴方と出会っていたら。どうなっていたんでしょう…

きっと、色んな楽しいことを、二人でしていたんだろうなって…

今も、たくさんさんの思い出を振り返るんだろうと…そう、思うんです

…人になっていたとしても、貴方と出会えるかどうか分からないんですが…

……ん、ふう…

でも、一つだけ分かることがあります

もし、貴方と出逢っていたら…。必ず、私はまた恋に落ちていました…ふふっ

…そう、ですよ。思い出は、これからたくさん作っていけば良いんです…

…二人だけの、思い出を…

…ふふっ。今、こうして耳かきをしてあげているのも、思い出…ですよ
…ん、はあ…
ん…ふう…

私…今が、幸せです…

ん、ふう…
こちらのお耳も、綺麗になりましたよ
最後は…

ん…ふううう——…

はい、これでお終いです
…癒されていたけましたか？

ふふ、良かった
それでは、お夕食の支度を…あ

…もう少し、ですか？
もちろん、私はいつまでも。良いですよ
お膝の上で、太ももにすりすりって…したかったですよね？
…では、いーっぱい、甘えてください

ん…っ、ふう…
髪の毛が、少しだけくすぐったいです

ん、あ…。でも、このくすぐったさが、心地良くて…んっ、ふう…
貴方に、ちゃんと膝枕…できてるって、思えます…
…ん、ああ…

よし、よし…ふふ
いつも、お疲れ様です…
ごはんの前に、少しだけ…眠っても良いですからね…
…ん、はあ…
貴方の寝顔…ふふ。やっぱり、愛おしくて、可愛い…

……ん、はあ……

よしよし、よしよし……

■6.いつもの一旦シチューのあーん散歩添い寝

【セフィリア】

あら、ふふっ、お帰りなさい

お夕食、もうできていますよ。今日はあったかいシチューを――

――あっ

いえ……その、早く帰って来てくれたのが……嬉しくて。つい、抱きついちゃいました……

……ん、すんすん、貴方の匂い……

す、すみません。でも、この匂い……好き、です

すんすん。ん……っ、はあ……

……ご、ごめんなさい。こうしていたら、シチューが冷めちゃいますね
さ、椅子に座ってください

すぐ、準備しますからね

……ああ、シチューの良い香り……

ふふ、貴方のお腹は、泣き虫さんですね

でも、大丈夫ですよ。お代わりもありますし、シチューに合うパンも用意しましたから
お腹いっぱいになるまで、一緒に食べましょうね。ふふっ

……では、いただきます

ん……はむ、もぐ……もぐ……

どうでしょうか？ お、美味しい……ですか？ ふふ、それは良かったです

お料理は、上手になれるように、たくさん頑張ったので……

ん、はむ……んむ、もぐ……もぐ……美味しい……

ん、あむ……もぐ……

パンを食べていると、貴方に会った頃を思い出します……

動けない私に、パンを食べさせてくれましたよね……

あの時、本当はちょっと、恥ずかしかったんですよ……？

ふふっ……では、あの時のお返し、してあげても良いですか？

……良いじゃありませんか。してみたいです。貴方のお口に、あーんって……ダメ、ですか？

ふふ、ありがとうございます

……では、パンに少しシチューを付けて……あっ

すみません……シチューの中に落としてしまいました。

もう1度、別のパンに付けて……はい、あーん

美味しいですか？ ふふ、じゃあもっと大きいのを……

きっと、貴方なら一口でばくっと、できちゃいますよね？

はい、あーん

ふふ、もぐもぐって食べてる貴方も、とても可愛いです……

もっと、毎日でもあーんってしたくなっちゃいます……

……恥ずかしい、ですか？

でも、それだけじゃありませんよね？ はい、あーん

……貴方のお顔、笑っていますよ？ ふふ

私も、貴方にこうして貰えた時……恥ずかしかったんですけど

いつの間にか、嬉しくも……なっていて。貴方のこと、意識……していました

……その、唇が触れてしまった時のことは、……ほんとに、恥ずかしいので……うう

……そ、そろそろ普通に食べましょうか。あーんは、また明日に取っておきます。ふふ

……ふう。食後のお散歩は、とっても気持ち良いですね……

風が穏やかで……。緑もいっぱい。空気が美味しいです……

あの木は……まだ蕾なんですネ

今は少し寂しいですけど、咲いたらすごく綺麗でしょうね……

……はい、前まではずっと海で過ごしていたので。こうした自然に、触れたことがなくて……

お花も、あまり見たことがないんです

いつか近いうちに、貴方と見られたら良いんですけど……

お花が咲くのは、もうすぐでしょうか？

まだ、先なんですネ。少し、残念です……

…けれど、貴方とこうして、一緒に歩くことができて…夢のよう、なんですよ

…そんな、大袈裟とかではなくて。以前の私は、一緒に歩けない身体でしたからでも、今は…ん

お身体に寄り添うこともできますし。手も、繋げる事が出来ちゃいます。

…ふふ。お顔、赤くなっていますよ？

…私も…そうですね。おあいこです。

…ん、ふう…

あそこにある木、とっても大きいですね…

ん、はあ。少しだけ、あの木の下で休んでいきませんか？

あ…気遣っていただいて、ありがとうございます

それでは、ほんの少しだけ…

ん…ふう

自然の、濃い匂い…

…落ち着きますね

…この場所、気に入っちゃいました

…また、一緒に行きましようね。約束…ですよ？ ふふ

もしかして…眠くなってきましたか？

…今日は、いっぱい頑張って、いっぱい食べましたからね

でも、ここで眠てしまうのは、ダメですよ。風邪…引いてしまいます。

ん…ふう

そろそろ、帰りましょうか

お休みになれるなら、お布団で…。その方が疲れが取れて、心地良く眠れますよ

…さ、一緒に

…ふう。お布団の中って、あったかいですね…

こんなにふかふかしていて、あったまれるものがあるなんて…

毎日が、幸せです。…大好きな人も、隣にいてくれますし。ふふ

……ああ。今日も、とっても楽しい一日でしたね

いえ、ちゃんと特別なこと……ありましたよ
貴方を見送って、出迎えて……

シチュをパンに載せて、あーんってしちゃいました
そのあとは、一緒にお散歩して……。大きな木の下で一休み……

とっても楽しいことだらけで……私にとっては、この一日一日が特別なんです……
いつもと同じようで、全然違う毎日に……ワクワク、しているんですよ

明日は、もっと楽しくなるのかなって……。

大好きな貴方と、どんなことを話せるのかなって……

色々考えながら、貴方の寝顔を眺めて……

そうしていたら、あっという間に次の日になっているんです

ほんとは、ずうっと貴方のことを、見つめていたいの……

きつと、今日も……すぐに終わっちゃいますね……

一日が、もう少し長かったら良いのに。そうしたら、もっと……貴方と……一緒に。

……ん。すみません、なんだか……寂しくなっていました

隣に、いてくれるのに……

もっと、くっ付きたいと、思っ……

ん……貴方の、温もり……愛おしく感じます

ん……好き。大好き、です

貴方のこと、お慕っています……

この先も、ずうっと……

私の心は、いつも貴方の側に……ん

寄り添って……いますから……

貴方も、私のこと、感じてくださいね……

ふふ、どうしたんですか？ 手のひらを、ぎゅって握って……

大丈夫ですよ。

私は、ずっと側にいる、と……

……お別れのつもりで、あんなことを言ったわけではありませんよ？

明日起きても、ちゃんと側にいますからね

もう……ふふ。じゃあ、このまま……

眠っている時も、この手を離さないでくださいね……

貴方の優しい力で、私のこと、掴まえていてください
私も、ぎゅうって、握り返しますね…

ん…すう…すう…

あ…貴方の寝顔、見ていたかったのに…

今日は…私の方が、先に…すう…すう…

んう…すう…すう…すう…すう…

ああ…大好き、です…すう…すう…すう…

このまま、ずっと…二人で…すう…すう…すう…

すう…すう…すう…

ん…すう…すう…すう…

■『二人の約束』

【セフィリア】

ふふ。もう朝ですよ

…美味しいごはんを作るので、起きてください？

もお…貴方は、お寝坊さんですね

…ん、ちゅっ

…あ、起きちゃいましたか？ ふふ、おはようございます

貴方が起きてくれないから、ほっぺにちゅーしちゃいました

…もう一回、してほしいんですか？

それは、行ってきますの時ですよ

…違います、意地悪ではありません。

本当は、私も、もっといーっぱい、してあげたいんですけど…

そうすると、ほっぺのちゅー…止まらなく、なっちゃいそうですから…

一緒に、我慢ですよ。ふふ

…さてと。そろそろ、朝の支度をしないと

ん…あ、れ。ん…あ

すみません、ちょっと脚が痺れたみたいで。手を貸していただけますか？

ん、しょ…。ふう…ありがとうございます

もう、大丈夫…です。で。ん、あ…っ

今のは、少しふらついただけなので。まだ、寝惚けてるみたいですね
これじゃ、人のこと言えない…あっ

はあ…はあ…はあ…

ごめん、なさい。少し、このまま横になれば…はあ…はあ…

…え、熱…ですか？ そんなに、おでこ…あっついでしょうか

良く…分かりません

はあ…ああ…早く、朝ごはん、作らないと…

…でも、それだと、貴方が…

ん…はい。すみません。では、お言葉に甘えますね…

はあ…はあ…

え……してほしいこと……。……では、脚を……さすってもらえますか？

……ん、あ……

気持ち、良い……。ん、はあ……

あと、は……。そうですね、少し……お水を……

あ……。ありがとうございます

……。ああ、飲ませて、下さるのですね……。んっ、んく……。んく……。んく……。はあ……。っ

はあ……。美味しい、です……

はあ……。ああ……

そんな……。悲しいお顔を、なさらないで……

私は、笑っている貴方が、大好きです……

……。ん、はあ……。大丈夫。少し眠れば、また……。元気に……。はあ……。ああ……

……。そう、ですか。すべて……。気づいて、いたんですね

……。貴方を、お出迎えした時。抱きついたのは、身体がふらついたからで……

お夕食の時、パンを落としてしまったのも……。お散歩で、すぐ疲れてしまったのも……

ぜん、ぶ……。はあ、はあ……

これは……。その、病気ではないんです。

……。私が犯した罪……。代償、です

私が、人の身体になろうとしたから……

……。本当は、魔法なんて、ないんです

私は、人になるために……。ある禁薬を口にしました。

とても、強い効果のあるお薬です。

この薬には、副作用が……。あって……

疲れ易くなったのは、最近……。なんです。

症状が出ないので、大丈夫だと思っていたんですけど……

ダメ、でしたね……。今まで黙っていて、ごめん……。なさい

はあ……。はあ……

治療する、方法は……。あります。……。ですが、

そのためには、別のお薬を、飲まないと、ダメなんです……

でも……。それを飲んでしまうと、私は……。元の身体に戻ってしまいます

すべて、昔の頃に…身体も、記憶も…全部、です…
そんなこと、貴方を…忘れてしまうくらいなら。最期まで、このまま…
はあ…貴方と、一緒に…

…え？ そんな…
…嫌、です。だって、

お薬を飲んでしまったら、貴方との思い出が…はあ、ああ…

そう、ですよ。私、言いましたよね

たとえ、人に生まれていても。貴方と出逢ったら、恋に落ちるって…

…何度だって、たとえ生まれ変わっても…

私は、貴方に…恋をします。絶対に

…はい。分かりました

それでは、私を…海まで、連れて行ってもらえますか？

…んっ

…ふふ。お姫様だっこ、されちゃいました

…はい。ここで、大丈夫です

降ろして、ください

— いえ、大丈夫です。自分で…立ち上がれますから…

貴方は、少しだけ…離れていて、くれませんか

まだ、海には行きませんので。お願い…します

はあ…はあ。お別れする前に…ちゃんと、自分のこの脚で…

…んっ、一人で…立ち上がって…

貴方の側へ…行きたいんです

だから、貴方はそこで、見守っていて、くれますか…？

…そして、もし…私が側に行けたら…

ぎゅって、抱き締めて、ください…っ

…ずっと、夢…だったんです

あの時、暗い、船の底で…樽の中に、閉じ込められていた時から…

貴方だけが、いつも私に会いに来てくれました。

いつも、優しい笑顔で、私のお話を聞いてくれたり。歌も、褒めてくれましたよね。

私は、貴方と出会ってから思うようになりました。

自分の脚で歩いて、貴方の側に行きたい…と。

あの身体のままでは、叶いませんでした。今は、違います

人として、生まれ変わった今なら。… っく、貴方の手に… 肩に… 温もりに…

自分から触れて… 大好きだって、愛してると… 伝えられます

これが、最後… です。私はもう、歩けなく… なります。

自分の、人の… 脚で… っ

ん… ふう、… っく、

あ… 私の名前を…

ふふ。貴方のおかげで、最後まで、頑張れそうです… っ

— あっ

う… うう、ああああ… っ

あった、かい…

辿り、着きました… っ

貴方の… 大好きな人の、腕の中に… うう

好き… 大好き… っ

ん… ちゅっ、ちゅう、… ん、ちゅっ… ちゅう… はあ

やっと… キス、できました

人の姿で… 初めて。愛してる、キスを… ん、ちゅっ、ちゅ… ああ…

… 泣いて、いるんですか… ? … ん、ぺろ

… 懐かしい、味がします。ふふ

… んっ、ちゅっ… ん、ちゅう… はあ

貴方からの、キス…。幸せ…

はあ… ああ…

… もう、行かないと

… 貴方は、私のことを、傷つけないと言ってくれました…

…ですが私は、傷つけて…しまいました
…悪い、女の子ですよね

…ごめんなさい。ごめんな—ああ…うう…っ

…必ず、必ずまた、貴方に会いに行きますから…っ
たとえ、すべて忘れてしまっても…この心は、貴方のことを…憶えています。

…貴方も、私のこと…見つけて、会いに来て下さいね

私の声が、歌声が聞こえるその場所に…私は待っています。

…どうか、お元気で…

さよならは、言いませんからね

…大好きです。ん、ちゅっ

■ 8.その後…

Can you hear my heart? Can you hear my voice?

たとえ遠く 離れていても

求め合えば いつか会えると信じている

Never cry again, never say good-bye

あの頃のように 無邪気で

子供のような 優しい微笑み

また見つける事ができるの？

【セフィリア】

…どちらさまでしょうか？

これは…その…

…あ、気付いて…いらっしやいました？

…私が、人ではないと知っても、貴方様は驚かれないのですね

その、宜しければ、秘密にさせていただきますか…？

…その。う、歌のこともそうですが…私のことを、です

普段は、このような、人里に近い場所へは、来ないのですが…

不思議、ですよ。お花を…見たくなったんです

ほら、あの山の麓 おもとゝが…微かに色づいています

鮮やかな水色の…綺麗な、お花…

もっと、近くで見れたら良いのに…

そういえば。貴方様は、どうしてこちらへ？ この辺は潮の満ち引きも激しいのであまり、人が立ち入るのは危ないと思うのですが。

良く…来られるのですか？

いつもって…毎日？ それはすごいですね…

…あ、すみません。そろそろ戻らないと…

え？　そう言われましても…

ただ、そうですね…。貴方様とは、また会える気がします
今度お会いした時は、もっとお話しましょうね

綺麗なお花を、一緒に眺めながら……ふふ

それでは、お元気で。

果てない夢の彼方　眠る記憶

未来と過去と現在　（いま）　繋ぎゆく記憶　（メモリー）

遠い日の約束　いつまでも待ってるから

E N D